令和7年度

学 校 評 価 結 果

坂井市立長畝小学校

豊かな心

スクールプラン	アンケート項目		※2 達成度
３あ運動の定着	教職員	私は、手本となるようなあいさつをしたり、大きな声であいさつをしたりするための声かけなどの指導を行った。	○
	児童	わたしは、すすんであいさつすることができた。	スクールプラン目標 90% ○
	保護者	お子さまは、地域の人に自分から進んであいさつをしている。	△
	教職員	私は、ルールを守って安全に生活する指導を行った。	○
	児童	わたしは、学校や家でのルールを守って安全に生活することができた。	○
	保護者	お子さまは、ルールを守って安全に生活することを心がけている。	○
人権教育・道徳教育の推進	教職員	私は、思いやりの心を育てる指導を行った。	○
	児童	わたしは、友だちの気持ちを考えた言葉づかいや行動をすることができた。	スクールプラン目標 90% ○
	保護者	お子さまは、家族やまわりの人の気持ちを考えて話したり行動したりすることができている。	○
絆づくり・居場所づくり	教職員	私は、「絆づくり」「居場所づくり」を大切にした学校行事や交流活動を行った。	○
	児童	わたしは、行事や集会などのたてわり活動で協力して活動することができた。	○
	保護者	お子さまは、学校が楽しいと感じている。	○
不登校・いじめ等の未然防止	教職員	私は、「いじめ」をなくすための指導を行った。	○
	児童	わたしは、友だちのいやがることをしないように行動することができた。	スクールプラン目標 100% ○
	保護者	お子さまは、まわりの人がいやがることをしないように行動することができている。	○
体験活動の充実	教職員	私は、様々な体験活動を取り入れた授業を行った。	○
	児童	わたしは、進んで体験活動を取り入れた学習をすることができた。	○
	保護者	お子さまは、学校での体験活動を取り入れた学習を行っている。	○
特別支援、教育相談体制の充実	教職員	私は、個に応じた支援を行った。	○
成果と課題	■３あ（あいさつ、安全、後始末）運動の定着 登校時、校舎内、下校時と、常に元気なあいさつが交わされている素晴らしい雰囲気である。職員・児童による玄関での挨拶運動や、児童集会における委員会の発表が効果的であったと考える。しかし、保護者の評価が目標の数値（８０％）を下回ったことから、今後、家庭や地域といった学校外での挨拶についても意識できるように、あいさつの意義を啓蒙していく。 ■不登校・いじめ等の未然防止 週に１回「いじめノックアウト」月に１回「いじめアンケート」を全児童に行った。また、学期に１回保護者に「いじめ早期発見アンケート」を行った。また、道徳や全校集会でも、人権をテーマに取り上げ、児童が考える機会を多くつくった。その結果、「いじめは絶対にいけない」という雰囲気作りにつながったと言える。また、いじめを認知したときは、早期にいじめ対策チームをつくり対応することができた。週２回の終礼や、月に１回のサポート会議で、児童の情報（内容や対応について）を共有したことも成果としてあげられる。 ■特別支援、教育相談体制の充実 教員の肯定率が大きく上がっている。学校としての体制づくりや個々人の指導のアップデート、意識改革が進んでいる結果と言える。		

※１　それぞれのアンケート項目について次の4つの回答がある。A：よく当てはまる　B：だいたい当てはまる　C：あまり当てはまらない　D：全く当てはまらない
達成度の数値はAとBの割合を合わせたものである。

※２　「達成度」はA＋Bの割合が８０％を上回っている項目が○　８０％を下回っている項目が△となっている。≒は差が－1％～＋１％の範囲とする。
８０％を上回っているが、スクールプランの目標値に届かなかった項目は●とする。

確かな学力

スクールプラン	アンケート項目		達成度
基礎学力の定着	教職員	私は、授業や家庭学習の中で、漢字や計算の育成を図るための実践を行った。	○
	児童	わたしは、漢字や計算テストにむけて練習した。	○
	保護者	お子さまは、漢字や計算テストに向けて学習に取り組んでいた。	△
対話の質を高める授業改善	教職員	私は、対話の質を高めるための取り組みを行った。	○
	児童	わたしは、友達と意見を伝え合うことが楽しかった。	スクールプラン目標 80% ○
読書活動の充実	教職員	私は、読書活動に取り組む指導を行った。	○
	児童	わたしは、本を読むことができた。	スクールプラン目標 90% ○
	保護者	お子さまは、読書の機会をもつことができている。	△
ＩＣＴ機器の効果的な活用	教職員	私は、タブレットを効果的に活用した実践を行った。	○
	児童	わたしは、タブレットを使った学習に取り組むことができた。	○
ふり返り活動の充実	教職員	私は、めあてに沿ったふり返り活動を行った。	○
	児童	わたしは、ふり返り活動に取り組むことができた。	○
家庭学習の習慣化	教職員	私は、基礎学力の充実を図るために家庭学習の習慣を身につける取り組みを行った。	○
	児童	わたしは、家庭学習に取り組んだ。	○

成果と課題

■基礎学力の定着

毎学期行われる「漢字計算テスト」については、児童の自己肯定感の高さが表れている。プレテストもあり、計画的に学習をすることで確実に目標達成ができて、児童の学ぶ意欲と自信につながっていると言える。学びのファイルで児童の努力が目に見える形になっており、振り返りができるところがよい。来年度は、学びのファイルの目標を書く枠を大きくし、具体的に目標を書くことで、振り返りをもっとしっかり行えるようにしていきたい。

■対話の質を高める授業改善

児童が対話する授業が「楽しい」と感じていることから、協働的な学びを意識した授業が行われ、児童が主体的に学びに取り組むことができていたと言える。また、児童一人一人にiPadが導入され、日常的に使用するようになり、さらに充実した対話活動ができるようになった。ICTを使った授業改善のための校内研修があり、教職員の意識及びスキルが高まった。次年度も引き続き、児童同士が主体的に学び合う授業を目指し、校内研修や研究を行っていく。

■読書活動の充実

多くの児童が読書の機会をもつことができている。読書に親しむことができるようにするために、担任以外の教職員や外部講師による読み聞かせを行ったり、週末読書のために、図書のこまめな貸し出しや持ち帰りを積極的に行ったりした。また、各学年で読書ツリーをつくり、おすすめの本を紹介する掲示物を飾った。来年度は、読んだ冊数が分かるような「読書マラソン」という自己評価カードを作ったり、季節ごとに感想を書くことができる読書ツリーをつくったりして、さらに読書活動の推進を行っていきたい。

■ICT機器の効果的な活用

教職員も児童もICT操作やICTを活用した授業に慣れ、日常的にICTを効果的に活用していると言える。教員がICTを使った授業公開を多く行い、参観や研究会を通して積極的に学び合い、情報を共有できたこともよい結果につながっている。

健康・安全

スクールプラン	アンケート項目		達成度
規則正しい生活習慣	教職員	私は、「早寝・早起き・朝ごはん」について、児童に対する指導を行った。	○
	児童	わたしは、「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけることができた。	スクールプラン目標 90% ●
	保護者	お子さまは、「早寝・早起き・朝ごはん」が身についている。	○
体力向上	教職員	私は、児童の体力向上のため、体育や業間運動の意欲づけを促す声かけを行った。	○
	児童	わたしは、体育や業間運動で運動することができた。	スクールプラン目標 90% ○
	保護者	お子さまは、運動に親しみ、体力向上に取り組んでいる。	○
運動の習慣化	教職員	私は、児童の運動の習慣化を図るため、休み時間の遊びを促す声かけを行った。	○
	児童	わたしは、休み時間に外遊びに取り組んだ。	△
	保護者	お子さまは、運動する習慣が　（スポーツ少年団での活動や、帰宅後または休日での外遊びを含む）身についている。	△
安心・安全な環境づくり	教職員	学校は、地域と連携し安心・安全な環境づくりを行った。	○
食育の推進	教職員	私は、栄養士と連携し、食育の推進を行った。	○
	児童	わたしは、給食に使われる食べ物や料理に関心をもって食べることができた。	○
	保護者	お子さまは、食に関する興味・関心が高い。	△
成果と課題	■児童の運動意欲の向上 体育や業間運動で運動に取り組めた児童が10ポイント程度上昇した。業間マラソンや休み時間のなわとび運動などが効果的に働いたと思われる。また、児童が主体となった体育委員会による運動企画なども、運動を楽しむ一つの要因になっている。今後も楽しい運動の機会を増やしていけるように、委員会活動を充実させていきたい。 ■早寝・早起き・朝ごはんの励行 早寝・早起き・朝ごはんについて難しい児童もいるが、概ね良好な結果と言える。長期休暇後には生活リズムが乱れがちであるが、はっぴーここからチェックなどをきっかけとして、児童が生活を見直すことができていたように感じる。 ■児童の運動の習慣化 業間マラソンや業間なわとびなど、休み時間に身体を動かす取り組みを企画・運営することができた。外遊びについては、暑さにより、中止せざるをえない日もあった。 学校で外遊びの楽しさを伝え、休日にも外に出ようという意識が芽生えるようにする。 ■地域と連携した安心安全な環境づくり マラソン大会での保護者・地域の方々の協力がとてもありがたかった。来年度も、学級委員をはじめ、地域の方々にもご協力いただけるようにお知らせをする。		

家庭・地域との連携

スクールプラン	アンケート項目		達成度
適切なネット利用	教職員	私は、パソコンやインターネットをスマートルールを守って適切に利用できるような指導を行った。	○
	児童	わたしは、パソコンやインターネットをスマートルールを守って正しく使うことができた。	○
	保護者	お子さまは、パソコンやインターネットをスマートルールを守って適切に利用することができている。	スクールプラン目標 90% △
保幼小中の連携	教職員	私は、児童や教員の保幼小中の連携につとめた。	○
開かれた学校づくり	教職員	H&Sでのお便りやブログ、広報誌などを通じて学校の情報を保護者に伝わるように発信した。	○
	保護者	学校はH&Sでのお便りやブログ、広報誌などを通じて、学校の情報発信をした。	○
ふるさと教育の推進	教職員	私は、教育活動全般において、地域の人材・施設・教材・校外学習を活用した。	スクールプラン目標 100% ○
	児童	わたしは、ふるさとのよさを伝えることができた。	スクールプラン目標 90% ○
	保護者	お子さまは、地域の行事や祭り、活動に参加している。	○
成果と課題	■適切なネット利用 今年度は春にスマートルールを配付し、家庭のネット利用のルールを決めてもらった。そのため、保護者への周知はできており、保護者の意識は高まったのではないか。 来年度は、目標値を理想値から実態に合わせた数値に設定し直す。また、学校からの働きかけを続けるとともに、PTAの親子行事等、子どもと一緒に考える時間を設けるような取り組みを計画する。 ■開かれた学校づくり 保護者の肯定率が高い。学校だよりや各学年のブログ、給食便りなど、Home＆Schoolで日々発信をしたことがよい結果につながった。 ■ふるさと教育の推進 あいさつ運動、マラソン大会、じょんころまつり、総踊りなど様々な活動に、郷づくり協議会、市役所、社会福祉協議会、ちくちくぼんぼんなどの地域の協力を得られた。各学年で、ふるさとのよさを見つける課題に取り組んだことや、地区の祭りと連携したことが、保護者にも活動を知ってもらう機会となり、よかったのではないか。また、地区の祭りとＰＴＡ行事が一体となって取り組んだこともよい評価につながっているのだと思う。これらのことを通して、児童のふるさとへの愛着は着実に上がってきていると考える。これからも学校で取り組んでいるふるさと学習に関する内容を保護者へ周知していくことで、ふるさと教育に関する意識を高めていきたいと考える。		